

資料編

放射能検査・空間線量率測定の結果および評価

1. 鴨川河川敷の状況

(1) 土壌の放射性セシウム濃度

- 撤去後の放射性セシウム濃度は、原子炉等規制法で「放射性物質として扱う必要がないもの」と定める 100 ベクレル/kg を大きく下回っている。
- 県内 4 箇所で、H15 年度～18 年度に測定された土壌の調査結果^(※1) 1.36～38.7 ベクレル/kg と比較しても同程度である。

採取日	試料名	検査数	検査結果(単位: ベクレル/kg)
H25.9.6	木くず下の土壌	10	検出せず～60
	河川敷土手の土壌	10	検出せず
	河川底質	2	検出せず
H26.2.23, 2.26 2.28, 3.4	木くず撤去後の土壌	39	検出せず～24

木くず撤去前:「データ編」表 1, 図 1 参照; 撤去後:「データ編」表 2, 表 3 参照

※1 県原子力防災室(当時:総合防災課)が実施した土壌の調査結果(セシウム-137 を調査)

調査地点	旧マキノ町	旧今津町	旧余呉町	旧西浅井町
放射能濃度(ベクレル/kg)	2.41～15.6	6.50～12.2	1.36～2.01	4.77～38.7

(2) 空間線量率

- 木くず撤去後の空間線量率は、ICRP(国際放射線防護委員会)の勧告値をもとに環境省が示している追加空間線量率 0.23 μ Sv/h と比較して低い値であった。
- 高島市内の近傍の地点の空間線量率 0.054～0.15 μ Sv/h (「データ編」表 7、図 4 参照)と比較しても同程度であった。

測定日	測定箇所数	測定結果(単位: μ Sv/h)	備考
H25.9.11	11	0.098～0.41	木くず撤去前
H26.2.23 と 2.28	53	0.084～0.13	木くず撤去後
H26.3.14	11	0.096～0.13	整地後

空間線量率:「データ編」表 4 参照

2. 周辺地域の状況

(1) 環境モニタリング結果

① 水道水、河川水および琵琶湖水の放射性セシウム濃度

- ・これまでの検査で放射性セシウムは検出されず、問題はない。

採取日	試料名	検査数	検査結果	備考
H25.9.12	水道水	2	検出せず	打下と比良浄水場浄水
H25.9.6	鴨川河川水	5	検出せず	
H25.9.9	琵琶湖水	4	検出せず	
H25.10.28～H26.3.10	水道水	6	検出せず	打下浄水場浄水を毎月検査
H25.10.1～H26.3.4	鴨川河川水	12	検出せず	鴨川 2 箇所隔週検査

水道水:「データ編」表 12、表 13 参照; 鴨川河川水:「データ編」表 12、表 13、図 5 参照

琵琶湖水:「データ編」表 11 参照

② 魚類の放射性セシウム濃度

- ・放射性セシウムは検出されず、問題はない。

採取日または期間	検査数	検査結果	備考
H25.9.12	5	検出せず	鴨川河口周辺で採取
H25.10.21～H26.3.11	8 (6 回)	検出せず	鴨川河口周辺または安曇川町沖で採取、環境モニタリングは毎月実施

魚:「データ編」表 12、表 13 参照

③ 空間線量率

- ・周辺地域の空間線量率は、追加空間線量率 $0.23 \mu\text{Sv/h}$ と比較して低い値であり、高島市内の近傍の地点の空間線量率 $0.054 \sim 0.15 \mu\text{Sv/h}$ (「データ編」表 7、図 4 参照) と比較しても同程度であった。
- ・周辺 3 箇所での継続測定結果では、いずれの地点でも変動はなく、また、木くずの撤去前後で差はみられないことから、木くずの周辺地域への影響は認められない。

測定日または期間	測定箇所数	測定結果(単位: $\mu\text{Sv/h}$)	備考
H25.9.9	7	0.058～0.10	
H25.10.8～ H26.3.14	3	① 鴨川左岸門扉前 0.060～0.094 ② 横江浜園地 0.060～0.088 ③ 鴨川右岸住宅地 0.11～0.13	隔週で計 15 回測定

空間線量率:「データ編」表 5、表 6、図 2、図 3 参照

(2) その他の検査結果

- ・米とかんがい用水からは、放射性セシウムは検出されず、問題はない。
- ・農地の土壌については、3箇所では放射性セシウムが検出されたが、100ベクレル/kg を大きく下回っており、県内4箇所において測定された土壌の調査結果^(前記※1)と比較しても低く、問題はない。

採取日	試料名	検査数	検査結果	備考
H25.9.8 ～9.11	玄米	6	検出せず	琵琶湖からの逆水を用水として利用している受益区域の農地の米
H25.9.12	かんがい用水	1	検出せず	鴨川流域土地改良区鴨川第1段揚水機場の吸水槽の水
H26.3.7	農地の土壌	5	検出せず～ 6ベクレル/kg	鴨川周辺における農地の土
H26.3.10	かんがい用水	1	検出せず	H25.9 と同じ

米:「データ編」表8参照; 農地の土壌:「データ編」表9参照;
かんがい用水:「データ編」表10参照

3. 今後の環境モニタリング

周辺住民の皆様に安心していただけるように環境モニタリングを以下のとおり継続する。結果については県のホームページへ掲載するとともに、地元区へも資料を配布してお知らせする。

- ・期 間 平成26年6月まで
- ・項 目 鴨川河川水(2箇所)、魚類(鴨川河口付近)、
空間線量率(周辺地域3箇所)
- ・頻 度 毎月実施